MITSUBISHI 三菱パッケージエアコン別売部品　PAC-CQ01KT用

K制御キット接続要領書

1．電気配線

1）一般事項

⑴「電気設備に関する技術基準を定める通商産業省令」「内線規程」及び事前に、各電力会社のご指導に従ってください。

⑵ユニット外部では伝送用配線（伝送線）が電源配線の電気ノイズを受けないよう5㎜以上離してください。（同一電線管には、絶対に入れないでください。）

⑶制御配線用端子台には、200V電源を絶対接続しないでください。万一接続すると故障します。

⑷現地配線は配線が引張られないよう余裕をもたせて工事を行ってください。

⑸制御用連絡配線には次の仕様のシース付ビニールコード及びケーブル(0.5～1.25㎟)を使用してください。

●ビニルキャプタイヤ丸形コード	VCTF	●ビニル絶縁ビニルシースケーブル丸形	VVR
●ビニルキャプタイヤ平形コード	VCTFK	●ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形	VVF
●制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVV	●600Vビニルキャプタイヤケーブル	VCT
●制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル	CVS		

2．電源配線・システム配線

2.1）電源配線

電源配線は、各々の機種の据付説明書に従って確実に配線してください。

2.2）システム配線

▶K制御キット組込のパッケージエアコンを運転させるためには、制御配線(伝送線)の施工以外に、K制御キット内基板上のディップSWの操作を必要とします。（基本システムの場合は不要）

▶制御用配線は、2芯線をご使用ください。

▶系統の異なる伝送線を多芯の同一ケーブル内で配線しますと伝送信号の送・受信が正常にできなくなり、誤動作の原因になりますので、絶対に行わないでください。

▶標準的なシステムの組方を説明します。

K制御キットを取付ける場合は、K制御キットと同時に別売のリモコンが必要となります。組むシステムにより必要数がかわりますのでシステムを決定してから所要数手配してください。

集中管理リモコンを使用する場合で集中管理リモコンのみで運転操作を行う場合は別売リモコンは不要です。

①基本システム

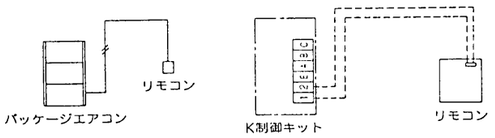


図1　K制御キット、リモコンのアドレスSWは変更不要です。（出荷時のまま）

②グループ運転

▶リモコン1個で最大50台まで、運転制御可能です。

▶各パッケージエアコンは、負荷に合わせて個別にサーモ発停します。

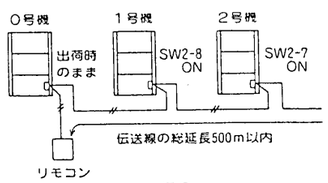


図2　アドレススイッチのセット方法は2，3項をご覧ください。

▶0号機をスタートとして、その他の号機は1～49番までの範囲で重複しないかぎり自由に番号設定可能ですが、号機の番号が順次始動時間として自動的に設定されますのでリモコンONしてから最大50秒前後運転までに時間がかかります。（アドレス番号が号機番号となります。）

▶次の場合「システムエラー」となり運転できなくなりますので2，3項により確実にアドレス設定をしてください。

a　アドレスを設定しない。

b　グループ内に同一のアドレスがある。

▶アドレススイッチの設定は、2，3項により行ってください。

※集中管理リモコン及び伝送線拡張部品の中継ボードなどとの組合せシステムは、それぞれの説明書内容により据付施工をお願いします。

⑶2箇所リモコンによる制御

▶K制御キット組込みのパッケージエアコンは個別またはグループ単位で2個のリモコンを使って別の場所から操作できます。

▶運転は2個のリモコンのうち最新指令(後から押したリモコン指令に従う)で制御されます。

個別運転例（図3）

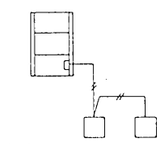


図3

グループ運転例（図4）

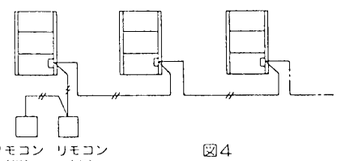


図4

▶従リモコンのディップスイッチのセット

●リモコンのディップスイッチの「7」番をONにしてください。（図5）

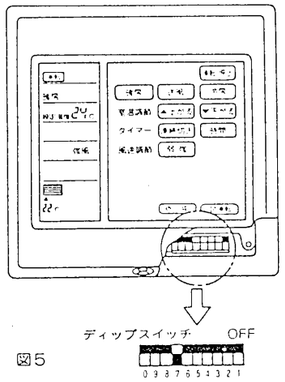


図5　ディップスイッチの「7」番をONにする。（出荷時はすべてOFFです）

●リモコンの表示は、タイマー運転モード及び自己診断を除き、主リモコン・従リモコンとも同一の表示となります。

●タイマー運転モードは、主，従リモコンどちらからでも可能ですが、リモコンの表示は設定側リモコンのみになります。

また両方のリモコンをタイマー設定した場合は、残り時間の短い方が有効となります。

●自己診断は、主，従リモコンどちらからでも可能です。

また、リセットも主、従どちらからでも可能です。

2.3）アドレススイッチのセット方法

▶アドレスの設定はK制御キットの基板上のディップスイッチSW2の3～8番のスイッチにて行います。1，2番は変更しないでください。（図7）

▶このアドレスは、順次起動タイマーを兼用しています。

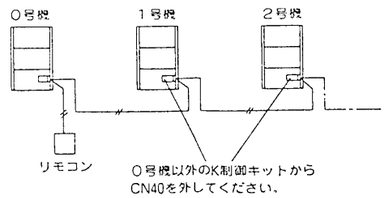


図6

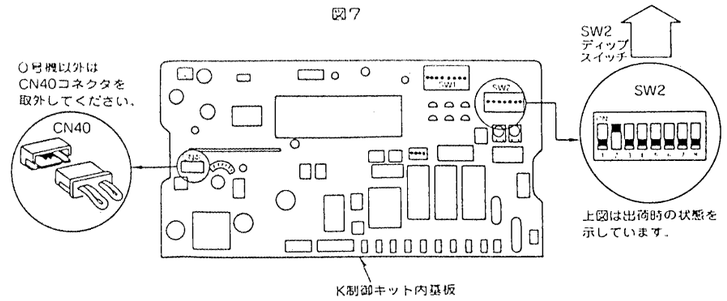
アドレス設定例

アドレスを「15」にセットしたい場合
15=8+4+2+1
したがって、
5・6・7・8番をONにする。

3～8番のスイッチは、2進法で次のアドレス設定ができます。

スイッチ番号	3番ON	4番ON	5番ON	6番ON	7番ON	8番ON
アドレス	32	16	8	4	2	1

図7



（SW2の操作）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
SW2-3																									
SW2-4																	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON
SW2-5									ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON									ON
SW2-6					ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON	
SW2-7			ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON	
SW2-8		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON	

	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
SW2-3								ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON
SW2-4	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON																	ON	ON
SW2-5	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON									ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON		
SW2-6				ON	ON	ON	ON	ON				ON	ON	ON	ON					ON	ON	ON	ON		
SW2-7		ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON			ON	ON		
SW2-8	ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON		ON

3．試運転

3.1）試運転の前に

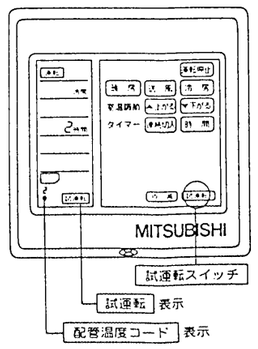
⑴　ボールバルブは、液、ガス側とも全開にしてください。キャップは元通りにしっかりと締めてください。

⑵　冷媒配管接続部からのガス漏れのないことを確認してください。

⑶　室内・外ユニットの送風機が正しい方向に回転していることを確認してください。

⑷　運転開始前に電源を投入し、6時間以上クランクケースヒータを通電してください。

試運転方法〔取扱説明書・据付説明書も一読ください。〕



上図は冷房時の試運転の状態を示したものです。

1	6時間以上前に元電源を入れてください。
2	試運転 ボタンを2度押していただくと 試運転 の液晶表示をします。同時に運転を開始します。
3	運転切替ボタンの 送　風 を押して送風モードにし風が吹き出すことを確認してください。
4	運転切替ボタンの 冷　房 (または 暖　房 を押して冷風(温風)が吹き出すことを確認してください。
5	室外ユニットファンの運転を確認してください。（空冷のみ）
6	試運転解除は 運転/停止 ボタンを押してください。タイマーの 連続・切・入 ボタンを押しても解除されます。

●試運転は、2時間の切タイマーが作動し、サーモは無効となり連続して2時間後自動的に停止します。

●試運転中の室温表示部は次の値を表示しています。

冷房時：2

暖房時：10